

# 單元指導計畫

# 第1学年 生活科 単元指導計画 単元名「つくろう あそぼう」

## <目標>

身近な自然物や、身の回りにあるものを使って、おもちゃを工夫して作ったり、遊び方を工夫して作ったりすることを通して、遊びの面白さや自然の不思議さに気づき、安全に気を付けて、みんなで遊びを楽しむことができる。

## <つきたい力>

- ・身近な自然物を使って、遊びに使う物を作ったり、遊んだりすることに関心をもつことができる。  
 <生活への関心・意欲・態度>
- ・自然物や身の回りにあるものを利用して、遊びに使う物を工夫して作り、みんなが楽しく遊べるように、約束やルールを考えることができる。  
 <活動や体験についての思考・表現>
- ・自然を利用して遊んだり、遊びに使う物を作ったりすることの面白さや、自然の不思議さ、秋の自然を使ってみんなで遊ぶことの楽しさに気付くことができる。  
 <身近な環境や自分についての気付き>

学習過程	小単元名「おもちゃをつくろう」		
	なぜ (願いをもつ)	見つける (やってみる)	見つける・見つめる① (やってみる・考える)
時間	1	2, 3	4, 5
本時のねらい	自分たちで集めたどんぐりや落ち葉を使って遊び、もっと楽しく遊べるおもちゃや楽器、飾りなどを作りたいという願いをもつことができる。	秋の自然物と身近なものを使って、おもちゃや楽器、飾りなどを作って遊ぶことができる。	自分や友達がつくったおもちゃで遊ぶことを通して、楽しく遊べるようおもちゃを改良したり、遊び方や約束を考えることができる。
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸いどんぐりだね。すぐに転がって行っちゃうよ。</li> <li>・いろいろな葉っぱの色があるね。並べたらちようちよに見えるよ。</li> <li>・まつぼっくりを立ててみたら、木の形みたいだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりに楊枝をさしたらこまになるよ。</li> <li>・どんぐりを投げて遊ぶだけだとつまらないな。まどを作ってみよう。</li> <li>・小さなどんぐりはこまにならないな。箱に入れて振ったらいい音がでて楽しいよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作ったものでいっぱい遊んだらおもしろかった。</li> <li>・まといれの箱の大きさを変えたらどうかな。</li> <li>・楊枝のさし方や長さを変えたらどうかな。</li> <li>・みんながゴールできるように、迷路を簡単にしたらどうかな。</li> <li>・けん玉のひもの長さを変えてみよう。</li> <li>・みんなが楽しく遊べるために、遊び方や約束を考えよう。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;">                     このまま遊ぶよりも、何か作った方が楽しく遊べそうだな。こまなどを作ってみんなで楽しく遊びたいね。                 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;">                     いろんなおもちゃができておもしろかったよ。もっとおもしろくして遊びたいな。                 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;">                     工夫したらおもしろいおもちゃができたよ。みんなが楽しく遊べるように考えたよ。でも、まだうまく遊べなかったところがあった。どうしよう。                 </div>
指導・援助 (思考ツール)	作りたいものを発表する際に、Yチャートを使い、作りたいものを「おもちゃ」「飾り」「楽器」の仲間に分け、作りたいものが決まらない子のヒントになるようにする。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">Yチャート</div>	各自で制作活動や試し遊びの中で、教師と一緒に遊び、「よく回るね」「面白い音がするね」「きれいな色だね」等の具体的な言葉掛けをすることで、作っているものの動きや音、美しさに関心を向けられるようにする。	同じものを作っている子どもでグループを作り、作りながら情報交換できるようにする。作っているものの動きや音についての気付きを子どもの様子から拾い上げ、全体に価値付ける。どのように工夫したいのかを確認するよう助言する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">くらげチャート</div>
ルーブリック			A: 遊び方や約束を言うことができる。 S: 友達に「いいね」と言ってもらえるような遊び方や約束を言うことができる。
評価規準	<b>【関心・意欲・態度】</b> 秋のものを使ったおもちゃ作りに関心をもち、道具や身近な材料などを準備して、自分でおもちゃを作ろうとしている。(つぶやき・カード)	<b>【関心・意欲・態度】</b> 秋のものと身近なものを使って意欲的におもちゃ作りに取り組んでいる。(制作の様子・つぶやき・作品)	<b>【思考・表現】</b> 友だちと見合ったり教え合ったりしながら、より楽しく遊べるおもちゃにするために工夫して作り変えたり、遊び方や約束を考えたりしている。(行動・作品・付箋紙)

## 〈全9時間〉

### 〈単元の評価規準〉

- ・身近な自然物を使って、遊びに使う物を作ったり、遊んだりすることに関心をもっている。(関心・意欲・態度)
- ・自然物や身の回りにあるものを利用して、遊びに使う物を工夫して作り、みんなが楽しく遊べるように約束やルールを考えている。(思考・表現)
- ・自然を利用して遊んだり、遊びに使う物を作ったりすることの面白さや、自然の不思議さ、秋の自然を使ってみ

#### 小単元「園児とあそぼう」

見つめる② (対象を見直してやってみる)	見つける (やってみる)	見つめる③ (振り返る)
6(本時)	7, 8	9
<p>自分で作ったおもちゃで楽しく遊ぶ活動を通して、園児と一緒に遊ぶための遊び方や約束を考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりロケットを投げるとき、年長さんは僕たちより近いところから投げたらどうかな。</li> <li>・どんぐり迷路をやったらなかなかゴールできなかった。年長さんでも簡単にできるように工夫しよう。</li> <li>・〇〇さんにどうやって遊ぶのってきかれたけど、うまく話せなかったよ。説明を紙に書いたらどうかな。</li> <li>・どんぐりこまをプレゼントにしたら喜ぶかな。</li> </ul>	<p>園児を招待して楽しく遊べるように、遊びの準備をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年長さんが何の遊びをするところかわかるように、遊ぶ場所に看板をつけよう。</li> <li>・どんぐりロケットは投げる場所が年長さんに分かりにくいよ。印をつけよう。</li> <li>・迷路に挑戦する時間を紙に書いて説明しよう。</li> <li>・けん玉がうまくできない。ひもを短くしたら年長さんでもうまくできるかな。</li> <li>・どんぐりこまが転がってどこかにいかないように、箱の中で回すようにしよう。</li> <li>・招待状も準備しよう。</li> </ul>	<p>楽しかったことや工夫したことを振り返り、仲間と交流することを通して、自分や友だちが作ったおもちゃを改良したり、遊び方や約束を工夫したりして遊ぶことの良さに気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まどの箱の大きさを工夫したら、たくさん入って楽しく遊ぶことができた。</li> <li>・迷路に挑戦する時間を決めたから、みんなが遊ぶことができた。</li> <li>・けん玉がなかなか入らなくて、遊びにくかったけど、ひもを短くしたら入りやすくなったよ。おかげで、面白く遊べた。</li> <li>・〇〇さんのこまはよく回って面白かった。楊枝のさし方がまっすぐだからだね。</li> </ul>
<p>年長さんと遊びたいよ。どうすればいいかな。 年長さんが楽しめるような遊び方や約束を考えたいよ。</p>	<p>年長さんが楽しく遊べるような遊びのコーナーが作れそうだね。 遊びの場所や遊び方が分かるように看板や説明の紙があるといいね。</p>	<p>おもちゃやルールを工夫して作り直したら、もっと面白くなるんだね。うまくいってうれしかった。家でも弟と一緒に遊んでみたいね。</p>
<p>「園児と仲良く楽しく遊ぶ」ためにはどんな準備が必要なのかを考える際に、Yチャートを使い、遊び方や約束、遊ぶ場の準備など、様々な視点で工夫すれば楽しく遊べそうだということに気付けるようにする。</p>	<p>「園児と楽しく遊べるように」という観点を常に意識できるようにする。(第4, 5時の工夫とは観点が違うことに留意する。)</p> <p>前時に決めた遊び方や約束を元に準備したり、実際に遊ぶ場を設け、園児が楽しく遊べるようにさらに考えたりしながら準備することができるようにする。</p>	<p>「みつけたよカード」に園児と遊んで楽しかったことやがんばったことなどの振り返りを記入する。</p> <p>振り返ったことを仲間と交流する際にYチャートを使い、自分ががんばったことやうれしかったこと、前よりできるようになったことなど、様々な良さがあつたことに気付けるようにする。</p> <p>Yチャート</p>
<p>A: 遊び方や約束について改善点を言うことができる。 S: 友達に「いいね」と言ってもらえるような遊び方や約束について改善点を言うことができる。</p>		
<p>【思考・表現】 前時に決めた遊び方や約束を元に遊ぶことを通して、園児を楽しませるための遊び方や約束を考えている。(つぶやき・発言・付箋紙)</p>	<p>【思考・表現】 前時に決めた遊び方や約束を元に、準備をしている。実際に遊ぶことを通して、さらに園児が楽しく遊べるように考えている。(会話・行動)</p>	<p>【気付き】 遊びのルールを工夫すると、もっと楽しく遊ぶことができることに気付いている。(発言・カード)</p>

園の子を招待して一緒に遊ぼう(時間外)

## 第2学年 生活科 単元指導計画 単元名「まちのすてき たんけんたい」

### <目標>

地域で暮らす人々とかかわる活動を通して、地域には生活したり、働いたり、学んだりしている人がいることや、それらの人々と自分たちの生活とのかかわりに気づき、地域に親しみや愛着をもつことができる。

### <つげたい力>

- ・自分たちのまちの学校やそこで暮らす人々の様子に関心をもち、進んでそれらとかかわりを広げようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・まち探検して分かったことについて、自分なりに考えたり、振り返ったりして、それを素直に表現することができる。(思考・表現)
- ・自分たちの生活は、そこで過ごすまちの人々や各学校と深くかかわっていることに気付いている。(気付き)

学習過程	小単元名「どんな学校があるのかな。」		小単元名「とびだせ たんけんたい。まちのすてきをみつけよう。」	
	なぜ (願いをもつ)	見つける (やってみる)	見つめる①・なぜ (振り返る)(願いをもつ)	見つける (やってみる)
時間	1	2・3・4・5・6	7・8	9・10
本時のねらい	まちたんけん(1学期)を思い出す活動を通して、南ヶ丘地区には学校が多いことを再認識し、「すてきな人」に賞状を贈るために、さらに探検したいところや知りたいことを見つけてることができる。	南ヶ丘小学校区の多くの学校(ひまわりの丘・中濃特別支援学校・関商工高等学校・中部学院大学・関特別支援学校・桐が丘幼稚園・南ヶ丘保育園)を探検する活動を通して、「くわしく探検する場所」を見つけてることができる。	校区の学校巡りの中から、校区のすてきな学校やすてきな人を見つけるための計画を立てることができる。	中部学院大学で、見たり、聞いたりを、体験したりする活動を通して、分かったことをメモしながらインタビューすることができる。
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期の探検では、色々な建物(学校や保育園)などがあることが分かったよ。</li> <li>・いろいろな学校の探検にいききたいな。</li> <li>・いつか会う、高校生のお兄ちゃんやお姉ちゃんは、関商工という学校で勉強しているんだね。</li> <li>・今度「たのしみん祭」で行く中部学院大学はここだよ。中にはどんな人たちがいるのかな。</li> <li>・幼稚園には、ぼくの妹がいるよ。年長の時にお世話になった先生に会いたいな。</li> </ul> <p>南ヶ丘小学校の周りには、学校が多いことが分かったよ。いろいろな学校の中を見てみたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出会う人に挨拶しよう。</li> <li>・1年生の時、交流した中濃特別支援学校の子が勉強しているところだね。</li> <li>・中部学院大学には、大きな建物がたくさんあるんだね。勉強する場所がたくさんあるんだね。</li> <li>・いつも挨拶してくれる高校生のお兄ちゃんが、勉強しているところなんだね。広くていろんな部屋があるよ。どんな勉強をしているのかな。</li> <li>・僕の妹が通っている幼稚園だよ。久しぶりに先生にあつたよ。小学校よりも小さい遊具なんだね。</li> </ul> <p>もう一度行きたい、中部学院大学に行って、そこで学習している人のすてきなところ(工夫しているところ・よいところ)をたくさん見つけたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、去年「たのしみん祭」で行った中部学院大学に行きたいな。</li> <li>・あいさつもきちんとしなくちゃいけないね。</li> <li>・お願いの仕方やインタビューの仕方を練習しよう。</li> </ul> <p>もう一度行きたい、中部学院大学に行って、そこで学習している人のすてきなところ(工夫しているところ・よいところ)をたくさん見つけたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの建物があって、迷いそうだな。</li> <li>・中部学院大学の図書館は、地域の人が使えることが分かったよ。ぼくたちも大人と一緒に行けば使えるんだね。</li> <li>・南ヶ丘小学校によく来てくれて読み聞かせや遊んでくれるお兄さん・お姉さんと一緒に勉強できるよ。嬉しいな。</li> <li>・中部学院大学は、地域の人とつながるために「たのしみん祭」を計画していたんだね。</li> <li>・実行委員長のAさんは、この地域のために、たくさんの工夫をしているんだね。すごいね。</li> </ul> <p>中部学院大学ですてきな人といっぱいお話できたよ。すてきなところもいっぱい見つけたよ。</p>
指導・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期の町探検を想起して、本単元の学習への興味や関心がもてるよう、探検の時の写真を提示する。</li> <li>・拡大地図に、今までに行った場所や見たことを貼る活動を通して、場所や人に興味をもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな小さな発見も気づきと認め、自分からたくさんの学校や幼稚園等の様子に気づけるようにする。</li> <li>・すべての場所を全員で巡り探検し、その中からもう一度行きたい場所を決め、その理由を明らかにしている子を価値づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部学院大学で、一緒に体験する授業を示し、インタビューや計画の参考にするように助言する。</li> <li>・マナーに気をつけてインタビューやお願いの仕方を練習するように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部学院大学の方に依頼し、中部学院大学の学校探検をさせていただく。また、インタビューもさせていただくように依頼する。</li> <li>・中部学院大学では、音楽の授業と一緒に体験させていただくよう依頼する。音楽の授業カウント1を別に設ける。</li> </ul> <p>* 10月22日(土)「たのしみん祭」参加後、中部学院大学訪問。</p>
思考ツール				
ループリック				
評価規準	【関心・意欲・態度】 自分から進んで、自分の知りたいことを発表しようとしている。(発言・つぶやき・振り返りカード)	【気付き】 「もう一度行きたい場所」を見つけてようとしている。(発言・振り返りカード)	【思考・表現】 あいさつや言葉遣いに気をつけながら、話す練習をすることができる。(練習の様子)	【関心・意欲・態度】 あいさつしたり、自分から話しかけたりして、中部学院大学の人々に進んで関わろうとしている。たくさん、メモしようとしている。(探検の様子、探検振り返りカード)

〈全19時間〉

〈評価規準〉

- ・自分たちのまちの学校やそこで暮らす人々の様子に関心をもち、進んでそれらと関わりを広げようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・まち探検して分かったことについて、自分なりに考えたり、振り返ったりして、それを素直に表現することができる。(思考・表現)
- ・自分たちの生活は、そこで過ごすまちの人々や各学校と深く関わっていることに気付いている。(気付き)

小単元名「とびだせ たんけんたい。まちのすてきをみつけよう。」

見つめる② (振り返る)	見つめる③・なぜ (振り返る)(願いをもつ)	見つける (やってみる)	見つめる④ (振り返る)	見つめる⑤ (振り返る)(願いをもつ)
11・12	13	14・15	16・17(本時)	18・19
<p>中部学院大学のすてきな人に賞状を贈るための活動を通して、中部学院大学の人が地域のため活動しているよさに気付くことができる。</p>	<p>校区のすてきな学校に、賞状を贈るために、行きたい学校の一つである関商工高等学校見学の計画を立てることができる。</p>	<p>関商工で、見たり、聞いたり、体験したりする活動を通して、分かったことをメモしながらインタビューすることができる。</p>	<p>関商工のすてきな人に贈りたい賞状の名称を決定していく活動を通して、関商工の人が挨拶を率先して行っていること等、関商工には「すてきな人」が学んでいることに気付くことができる。</p>	<p>まち探検を振り返り、校区で見つけたすてきな人をまとめる活動を通して、この地域にはすてきな人がたくさんいることやその人たちと行事やあいさつを交わすことで、深くかかわっていることに気付くことができる。</p>
<p>・すてきな人がたくさんいたね。 ・自分が見つけたすてきな人を見つけたよ。すてきだと思った理由は、〇〇だよ。(フィッシュボーンで考える。)</p> <p>・クラゲチャートで中部学院大学のことを整理してみよう。 ・友だちと一緒にのこともあるね。ぼくが考えなかった意見もあるね。 ・賞状の名前を考えるんだね。ぼくたちのグループは「地域の人に優しいで賞」にしたらいと思うよ。</p>	<p>・高校生のお兄ちゃんに、どうやって質問すればいいのかな。 ・あいさつもきちんとしなくちゃいけないね。 ・お願いの仕方やインタビューの仕方を練習しよう。</p>	<p>・工業科と商業科で校舎が違うんだね。 ・関商工のお兄さんたちが勉強している機械を使わせてもらえるんだ。高校3年生のお兄さんたちが優しく教えてくれたよ。 ・歩いているのに、立ち止まってあいさつしてくれたよ。すごいね。 ・関商工の先生が、「あいさつが学校の宝だよ。」って教えてくれたよ。</p>	<p>・すてきな人がたくさんいたね。 ・自分が見つけたすてきな人を見つけたよ。すてきだと思った理由は、〇〇だよ。(フィッシュボーンで考える。)</p> <p>・クラゲチャートで関商工の事を整理してみよう。 ・友だちと一緒にのこともあるね。ぼくが考えなかった意見もあるね。 ・賞状の名前を考えるんだね。ぼくたちのグループは「あいさつで地域の人を笑顔にしたで賞」にしたらいと思うよ。</p>	<p>・この地域には、すてきな人がいっぱいいたね。 ・今まで気づかなかったけど、この地域には、自分からあいさつをしたり、地域のために祭りやふれあいを考えたりしているほかほかの心のお兄さんやお姉さんが勉強している学校があるんだね。優しい人がいっぱい暮らしているすてきなところだね。 ・ありがとうの気持ちを伝えたいな。しっかりお礼が伝えられるように手紙を書こう。 ・今度、中部学院大学や関商工の人に渡せるように、丁寧に賞状を作ろう。</p>
<p>賞状の名前が決まったよ。中部学院大学のの人に早く賞状を渡したいな。</p>	<p>もう一度行きたい、関商工に行って、そこで学習している人のすてきなところ・よいところをたくさん見つけたいな。</p>	<p>関商工ですてきな人いっぱいお話できたよ。すてきなところもいっぱい見つけたよ。関商工のあいさつはさすがだな。</p>	<p>賞状の名前が決まったよ。関商工の人に早く会いたいな。早く賞状を渡したいな。</p>	<p>この町の、大好きが見つかったよ。南ヶ丘小校区は、学ぶ場所がたくさんある、すてきな地域なんだな。そこで、学んでいる人や働いている先生がたもすてきだな。このことを「発信！南ヶ子タイム」で、伝えていきたい。</p>
<p>・すてきだと思ふ根拠を明らかにするために、個人追究の際に、「フィッシュボーン」を利用する。 ・すてきだと感じた根拠を交流させ深い気付きとするために、すてきな人を「くらげチャート」の足に整理させ、くらげの体部分に「〇〇賞」のネーミングを考える。</p>	<p>・関商工で、一緒に体験する授業(キーホルダー作り)を示し、インタビューや計画の参考にするように助言する。 ・マナーに気をつけてインタビューやお願いの仕方を練習するように指導する。</p>	<p>・関商工の方に事前にお願ひし、あいさつをしているところを映像で見せてもらえるようにする。 ・関商工では、キーホルダー作りを関商工の方に教えていただきながら活動するように依頼する。図工の授業カウント1を別に設ける。</p>	<p>・すてきだと思ふ根拠を明らかにするために、個人追究の際に、「フィッシュボーン」を利用する。 ・すてきだと感じた根拠を交流させ深い気付きとするために、すてきな人を「くらげチャート」の足に整理させ、くらげの体部分に「〇〇賞」のネーミングを考える。</p>	<p>・幅広く地域のすてきな人に気付くために、学校ボランティア・畑の先生・関商工・中部学院大学の方の写真を電子黒板で見せて振り返ることができるようにする。</p>
<p>フィッシュボーン</p> <p>クラゲチャート</p>			<p>フィッシュボーン</p> <p>クラゲチャート</p>	
<p>A: 理由をつけて話すことができる。 S: 仲間の意見と比べながら、理由をつけて話すことができる。</p>			<p>A: 友だちに自分の意見を理由をつけて話すことができる。 S: 友だちの意見と比べて話すことができる。</p>	
<p>【気付き】 中部学院大学の「すてきな人」を交流する活動を通して、中部学院大学には「すてきな人」が働いたり学んだりしていることに気づいている。(交流の様子、振り返りカード)</p>	<p>【思考・表現】 あいさつや言葉遣いに気をつけながら、話す練習をしている。(練習の様子)</p>	<p>【関心・意欲・態度】 あいさつしたり、自分から話しかけたりして、地域の人々に進んでかかわろうとしている。たくさん、メモしようとしている。(探検の様子、探検振り返りカード)</p>	<p>【気付き】 関商工の「すてきな人」を交流する活動を通して、関商工には「すてきな人」が働いたり学んだりしていることに気付いている。(交流の様子、振り返りカード)</p>	<p>【関心・意欲・態度】 地域のすてきな人に気付き、お礼の気持ちを文章で丁寧に表している。(振り返りカード)</p>

第3学年 総合的な学習の時間 単元指導計画

単元名「私たちの町のやさしいマン・やさしい自分 パート1」

<単元目標>

地域の「やさしいマン」を見つけ、「やさしいマン」の思いを知る活動を通して、相手のことを考えて行動する大切さや、自分の生活を見直して地域のためにできることを考え、よりよく実践していこうとする意欲をもつことができる。

<つきたい力>

- ・南ヶ丘小校区のやさしいマンの話聞いたことをもとにして、もっとすてきな町にするための課題を設定することができる。<課題設定力>
- ・異なる意見や他者の考えと比較しながら、自分の考えを深めることができる。<思考力>
- ・やさしい自分になるためにできることを理由を明確にし、分かりやすくまとめ、伝えることができる。<表現力>
- ・自らの生活を振り返り、周囲とのかかわりの中で自分ができることを実践することができる。<実践力>
- ・学級で取り組む内容の方法を考えたり、課題を解決したりしていくことができる。<関わる力>。

学習過程	見つける・なぜ？ (まとめ→課題設定)	見つける (情報の収集)	見つける・見つめる (情報の収集→まとめ)
時間	1・2・3	4・5・6	7・8・9
本時のねらい	南ヶ丘小校区の「やさしいマン」を見つめる活動を通して、自分の周りにはすてきな人がたくさんいることに気付くことができる。	「やさしいマン」を招き、どんな思いで行っているのかを知り、地域の方に支えられているということに気付くことができる。	地域の「やさしいマン」にインタビューを行い、多くの人の思いを知り、南ヶ丘小校区で支え合って生活していることが分かり、「やさしいマン」の行っていることや思いをまとめることができる。
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操に来て、公園の水やりしてくれる人がいる。</li> <li>・朝いつも「おはよう」と声をかけてくれる人がいる。</li> <li>・公園に花を植えてくれる人がいる。</li> <li>・道路のごみ拾いをしてくれる人がいる。</li> <li>・私たちと一緒に登校してくれる人がいる。</li> </ul>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     大変なことも多いのにどうしてやっているんだろう。話を聞いてみたい。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花だん作りをするのはなぜだろう。</li> <li>・毎日、大きな声であいさつしてくれるのはなぜだろう。</li> <li>・どうして、ボランティアをやりようと思ったのだろう。</li> </ul>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     地域のために、小さなことでもお手伝いしたいと思えることってすてき                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朝、一緒に歩いて登校して、みんなが安全に登校してほしい、みんなの笑顔を見ると元気になる」と聞いて、自分たちの笑顔で人を元気にしているとは知らなかった。</li> <li>・「公園の水やりは大変だけど、花があるみんなが集まる公園になってほしい」と思いを聞いて、この地域をみんな仲良しにしたいと思っていることが分かった。</li> </ul>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     地域の人にやってもらうばかりではなく、自分も地域の一員としてできることがあるのではないかと。                 </div>
指導・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区探検で見つけたNさん、みんなの花壇だよと話してくれた方の写真をみせ、想起しやすくする。</li> <li>・夏休みに見つけた「やさしいマン」をカードにまとめ、提示する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     KJ法でまとめていく。(1・2時間)                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーの方に質問ができるように内容をまとめておくよう、指示をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ごとにインタビューを行い、聞いた内容を他のグループに伝えたいという思いがもてるように、助言する。</li> </ul>
ルーブリック	A:カードにまとめ、発表できる。 S:カードに分かりやすくまとめて、発表できている。	A:ゲストティーチャーの話を真剣に聞くことができる。 S:ゲストティーチャーの話を真剣に聞き、質問することができる。	A:カードにまとめることができる。 S:カードに聞きたかったことを分かりやすくまとめることができる。
評価規準	<学習方法に関すること> 自分が見つけた「やさしいマン」について分かりやすく、表現し伝えている。 (発言・振り返りシート)	<自分自身に関すること> 自分の生活のあり方を振り返りながら、ゲストティーチャーの方の話を聞いている。 (発言・振り返りシート)	<他者と社会のかかわり> 地域の方に「やさしいマン」の思いなどの情報を収集し、分析している。 <自分自身に関すること> 自らの行為について意思決定している。 (カード・振り返りシート)

〈全15時間〉

〈評価規準〉

- ・南ヶ丘小学校区のやさしいマンの話聞いたことをもとにして、もっとすてきな町にするために課題を設定している。
- ・異なる意見や他者の考えを比較しながら、自分の考えを深めている。
- ・やさしい自分になるためにできることを理由を明確にし、理由をつける分かりやすくまとめ、伝えている。
- ・自らの生活を振り返り、周囲とのかかわりの中で自分ができることを実践している。
- ・学級で取り組む内容の方法を考えたり、課題を解決したりしている。

<p><b>見つめる (整理・分析)</b></p>	<p><b>見つめる (整理・分析)</b></p>	<p><b>見つめる (まとめ)</b></p>
<p><b>10(本時)・11</b></p>	<p><b>12・13・14</b></p>	<p><b>15</b></p>
<p>やさしい自分になりたいという願いをもち、地域の一員として何かできそうなことを考える活動を通して、自分がすぐにできることがたくさんあることに気づき、地域の方を笑顔にできることを実践しようとする。</p>	<p>自分たちにできそうなことを立案し、実践を通して、大変だけれど地域のためという思いをもって活動することの素晴らしさを実感することができる。</p>	<p>地域のために実践した思いをまとめる活動を通して、これからも地域のためにできることを考えて実践しようとする力を育てる。</p>
<p>・あいさつをしよう。 ・公園に花を植えよう。 ・ありがとうの会を開こう。 ・ごみ拾いをしよう。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>みんなでもっとよくしようと考えることは楽しい。 自分たちが「やさしいマン」になって何かするって楽しんだ。</p> </div>	<p>・地域のために活動するって大人になった気分。でも、自分ができることもあった。 ・できることは続けていきたい。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>他の人も広めたいから、まとめて伝えたい。 もっと増えると南ヶ丘小学校区はもっとすてきな町になる。</p> </div>	<p>・分かりやすくまとめて、他の学年の人にもみてもらう。 ・他学年の人と一緒に協力してもらえないかな。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>地域のために活動をしている人にありがとうを伝えたい。 計画を立てよう！</p> </div>
<p>・今までに見つけた「やさしいマン」を想起するために、掲示物、ICT機器を活用するように助言する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>同心円チャート (10時間) 自分にできることを広げる</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>クラゲチャート (11時間) 意見をまとめる</p> </div> </div>	<p>・1時間ごとに、最後にふり返らせる時間を設け、目標達成に近づいているか助言をする。</p>	<p>・分かりやすくまとめた見本となるものを掲示する。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>PMIチャート 実践したことを評価する。</p> </div>
<p>A:理由を言いながら、「やさしいマン」になるための活動を発表することができる。 S:仲間の意見を取り入れ、理由をもとに「やさしいマン」になるための活動を発表することができる。</p>	<p>A:良さや課題を振り返ることができる。 S:良さや課題を振り返り、さらに新たな提案をすることができる。</p>	<p>A:活動の振り返りを行い、発表できる。 S:活動の振り返りを分かりやすくまとめて発表できる。</p>
<p>〈自分自身に関すること〉 自らの生活を振り返り、地域を笑顔にするために自分ができることを見つけて出している。 (付箋紙・発言・振り返りシート)</p>	<p>〈他者と社会のかかわり〉 他の児童や地域の方などの考えや意見などを積極的に取り入れている。 (発言・振り返りシート)</p>	<p>〈自分自身に関すること〉 活動を振り返って、良さや課題を明確にして、これからの自己の生き方につなげようとしている。 (付箋紙・発言・振り返りシート)</p>

第4学年 総合的な学習の時間 単元指導計画 単元名「南小・ごみダイエット大作戦」

<単元目標>

学校や家庭のごみの現状を調べる活動を通して、大量の紙や様々なものがごみとして生まれることを知り、人々がそれぞれの立場でごみの減量化や資源の節約に向けた工夫や努力をしていることに気づき、自分自身にできることを考え、取り組むことができる。

<つけたい力>

- ・ごみ問題を自分の問題としてとらえ、自宅や学校のごみの現状に関心をもち、その活動を通して「みつめる」「なぜ?」「みつける」という学びのサイクルを実現する。<課題設定力>
- ・ごみの減量化や資源の節約という目的に向かって、現地に足を運んだり、関係者にインタビューしたりして、調査活動に進んで取り組むことができる。<学習に対する意欲>
- ・児童が身近な環境について調べ、まとめ、伝えるだけにとどまらず、自分の学び取ったことや伝えたいことを多様な手段で表現し、自らが発信者となり行動化につなげる。<関わる力>

学習過程	見つける・なぜ? (まとめ→課題設定)	見つける・なぜ? (まとめ→課題設定)	見つける・みつめる (情報の収集→まとめ)
時間	1・2	3	4・5・6・7
本時のねらい	学校からはどんなゴミがどれくらい出てどのように処理され、減らすためにどんな努力(対策)が行われているのかを関係者へのインタビューを通して知ることができる。	学校から出るごみの量はどれくらいかを調べる方法を考え、行うべき調査方法を見通すことができる。	調査した内容を写真や数値を用いて資料としてまとめることができる。
児童の意識	<p>私の家のごみと学校のごみではどんな違いがあるのだろう。</p> <p>学校は家よりたくさんの方がいるから、ごみは多いのかな。</p> <p>学校でもごみを減らす努力はしているのかな。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>南ヶ丘小学校からはどんなゴミが出て、どのように処理されているのか。また、ごみを減らすためにどのような対策が行われているのか。</p>	<p>学校からは、たくさん紙がリサイクルできるごみとして出る。</p> <p>ごみの缶には(小さな紙類)、砂ほこりや糸くず、ビニールやプラスチックごみも出る。</p> <p>学校では処理しないが、給食の残飯もある。</p> <p>班ごとに担当を決めて調べるといい。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>学校から出るごみの量は実際にどのくらいあるのだろう。また、それをどのように調査すればよいだろうか。</p>	<p>どれだけの期間調べるのがいいのか。</p> <p>ごみの量をどのように表すといいのか。</p> <p>どんな資料にするといいのか。</p> <p>どんな分かりやすい工夫があるのか。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>学校から出るごみの量を調査して、発表資料にまとめよう。</p>
指導・援助	<p>インタビュー:校務員さん 給食担当者さん 教頭先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃えるごみ</li> <li>・リサイクルごみ</li> <li>・給食残飯</li> <li>・燃えないごみ</li> <li>・その他のごみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間継続的に調べる</li> <li>・写真を撮る</li> <li>・写真を使って表にまとめる</li> </ul>
ループリック	<p>A:丁寧な言葉遣いで礼儀正しくインタビューができる。</p> <p>S:丁寧な言葉遣いで礼儀正しくインタビューができ、相手の回答に対して感じたことや疑問をさらに聞き返すことができる。</p>	<p>A:調査方法を考え、発表することができる。</p> <p>S:学級内で役割分担することをイメージしながら調査方法を考え、発表することができる。</p>	<p>A:自分の役割に従って調査をし、結果を記録することができる。</p> <p>S:自分の役割だけでなく、仲間の活動にも気を配り、声かけや手助けができる。</p>
評価規準	<p>&lt;学習方法に関すること&gt;</p> <p>ごみの処理方法や減らすためにどんな努力(対策)が行われているのかを、関係者へのインタビューを通して知ることができる。</p> <p>(振り返りシート、発言)</p>	<p>&lt;自分自身に関すること&gt;</p> <p>実際のごみの量はどれくらいかを調べる方法を考え、今後自分の班が行うべき調査方法が分かる。</p> <p>(振り返りシート、発言)</p>	<p>&lt;学習方法に関すること&gt;</p> <p>調査結果を写真や数値を用いて資料にまとめている。</p> <p>(振り返りシート、発言)</p>

〈全13時間〉

〈評価規準〉

- ・自宅や学校のごみ調査をし、人々が分別によるごみの減量化や資源の節約に努力している事を知り、「自分にできることは何だろうか」という思いをもつことができる。
- ・「家庭や学校からはどんなごみがどのくらい出るのか」について、いろいろな調査方法を用いて積極的に調べることができる。
- ・ごみの減量化に向かって自分だけが行動するのではなく、他学年の仲間や家族・地域の方々に対しても働きかけをすることができる。

<b>見つめる (整理・分析)</b>	<b>見つめる (整理・分析)</b>	<b>見つめる (整理・分析)</b>	<b>見つける・なぜ？ (まとめ→課題設定)</b>
<p style="text-align: center;"><b>8</b></p> <p>グループごとに調査した結果について、伝える内容と方法を検討し、分担し合って発表ができる。</p>	<p style="text-align: center;"><b>9</b></p> <p>調査結果をもとに、現時点でのごみダイエットの達成度を根拠を示しながら判定することができる。</p>	<p style="text-align: center;"><b>10 (本時)</b></p> <p>ごみの減量化やリサイクル量の増加に向けてのアイデアを交流する活動を通して、個々のアイデアを「期待される達成度」という観点で吟味することの大切さに気づき、グループの活動として絞り込むことができる。</p>	<p style="text-align: center;"><b>11・12・13</b></p> <p>ごみの減量化に向けての思いを、その目的や願いを根拠として学校や家庭・地域に伝えることができる。</p>
<p>・ごみの中にリサイクルできるものが混じっていることを中心に伝えたい。</p> <p>・資料を見てもらうだけでなく、見せられるものは実物も見せたい。</p> <p>・話す人と資料を指し示す人を分担して発表したらどうか。</p> <p>・どんな聞き方をするといいのか。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>調査結果を交流しよう。</p> </div>	<p>・現時点での達成度は何%だろう。</p> <p>・ごみ箱のごみ: 全体の量は袋の半分以下だけど、リサイクルできるものも混じっているから60%</p> <p>・紙のリサイクル: 紙がぐちゃぐちゃだったり、ごみ箱にも紙が混じっていることを考えると50%</p> <p>・給食の残飯: 低学年が1kgを超えているし、まだまだ減らせそうな学年もあるので70%</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>南小のごみ対策と自宅のごみ対策の違いを比べ、今後の取り組みを考えよう。</p> </div>	<p>・自分たちが出したごみの量が重さの数字に示せば、ゴミを減らそうという気持ちが高まるのではないかな。</p> <p>・紙のリサイクル量を調べたデータをグラフにすれば、記録を伸ばそうと頑張れるのではないかなあ。</p> <p>・全校キャンペーンにすれば、全校の動きにつながっていくのではないかなあ。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>ごみ減量化や資源の節約に向けて、自分にはどんなことができるだろうか。また、どんな働きかけができるだろうか。</p> </div>	<p>・紙のリサイクルに対する気持ちをもっと高めるために、リサイクルボックスを作って配りたい。</p> <p>・自分の家のごみにはリサイクルできるごみも混じっているとと思うので、家族にもっと呼びかけたい。</p> <p>・物を雑に扱うことがあるので壊れたりしないで長く使えるように丁寧に扱いたい。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>ごみ減量化や資源の節約に向けての願いを伝えよう。</p> </div>
<p>・発表を聞く視点を明確にもてるようにする。</p>	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>スケールチャート: 現時点での達成度を100%スケールで判定する。</p> </div>	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>スケールチャート: 達成度100%に足りない部分を視覚的に捉え、その対応策と効果を考える。</p> </div>	<p>・人の行動意欲を高める働きかけになっているかを意識できるようにする。</p>
<p>A: 大きな声ではっきりと話すことができる。</p> <p>S: 聞き手を意識して、視線や動作、声の抑揚を意識した話し方ができる。</p>	<p>A: 自分の考えを理由を付けて話すことができる。</p> <p>S: 自分の体験を交えるなど、相手が納得するような話し方ができる。</p>	<p>A: ごみを減らすアイデアを理由とともに発表することができる。</p> <p>S: ゴみを減らすアイデアを、仲間の心を動かすような語りで説明することができる。</p>	<p>A: 自分の思いをはっきりとした声で伝えることができる。</p> <p>S: 相手を説得できる根拠をもって思いを伝えることができる。</p>
<p>〈学習方法に関すること〉 グループごとの発表を交流し、ごみの減量化について考えている。</p> <p>(振り返りシート、発言)</p>	<p>〈自分自身に関すること〉 ごみ減量化やリサイクルの達成度を、自分の経験や学んだことを根拠として判定している。</p> <p>(付箋紙、発言)</p>	<p>〈自分自身に関すること〉 ごみ減量のアイデアを「スケールチャート」に整理しながら、グループで取り組むことが理解できる。</p> <p>(付箋紙、発言)</p>	<p>〈自分自身に関すること〉 自分のごみ問題に対する思いや願いを根拠を示しながら迫力をもって相手に伝えている。</p> <p>(振り返りシート、発言)</p>

第5学年 総合的な学習の時間 単元指導計画 単元名「南小・米食実態調査隊」

<単元の目標>

米食に関する生産者と消費者の思いを調査・比較する活動を通して、両者の思いに差があることに気付き、「米離れを防ぐために生産者の思いや米のよさを伝えて、米食について考え直してもらいたい」という願いをもち、米食のPRを計画し、実行しようすることができる。

<つけたい力>

- ・日本人の米離れについて知ること、自分たちの身の回りでも米離れは起きているのだろうかという疑問をもち、地域の米食の実態について考えようすることができる。<課題設定力>
- ・南小校区の米離れについて、消費者の意識を調査し、前単元で学習した生産者の思いと比較することで、両者の意識に差があることに気付くことができる。<思考力>
- ・米食実態調査を通して、自分や自分の家族の米食の状況について見つめ直そうすることができる。<思考力>

学習過程	見つめる・なぜ？ (課題設定)	見つける (情報の収集)	見つめる・なぜ？ (整理・分析→課題設定)
時間	1	2・3・4	5・6
本時のねらい	米を主食としていながら、一人当たりの食べる量が他の国に比べて少ないという現状を知ること、日本人の米離れや南小校区の人々の米食に対する意識について調べたいという意欲をもつことができる。	南小校区の人々の米食に対する意識を調査する活動を通して、日本人の米離れは自分たちの生活にもかかわりのあることであるということに気付き、米離れを防ぐために自分たちにできることはないかということを考えることができる。	調査の結果を分析する活動を通して、生産者と消費者の米食に対する意識にギャップがあることに気付き、消費者が米食について見つめ直せるようなPR活動をしたいという願いをもつことができる。
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土屋さんや米粉の会社の方の話から、米の生産にかかわっている人たちは、消費者にもっとお米を食べてほしいと願っていることが分かった。</li> <li>・日本人は米を主食にしているのに、一人が米を食べる量が世界の50位だと分かって驚いた。</li> <li>・日本全体でこのようなことが起こっているということは、私たちの身の回りでも同じことが起きているのかな。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">日本の米離れの実態が分かった。自分たちの身の回りでも同じようなことが起きているのかな。調べてみたい。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやったら南小校区の米離れについて調べられるだろうか。</li> <li>・私たちは、1週間にどれだけ米を食べているのだろうか。</li> <li>・私たちの家の人は、米食についてどんな意識なのだろうか。アンケートをとってみたい。</li> <li>・どんなことを質問すると、米食の様子が分かるか考えて、アンケートを作ろう。</li> <li>・アンケート結果から、南小校区でもあまり米が食べられなくなってきていることが分かった。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">南小校区でも米を食べなくなってきていることが分かった。少しでも米離れを防ぐために何かできることはないかな。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々があまり米を食べなくなってきているのは、日本人が米だけでなく、パンやパスタなども食べるようになってきたからだということ、米を食べるにはおかずが必要で、忙しい人たちは簡単に食べられるパンなどを選んで食べるようになったからだということが分かった。</li> <li>・アンケートの結果と生産者の思いを見比べてみると、両者の思いにギャップがあることが分かった。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">米離れを防ぐために、生産者の思いや米食のよさを伝える「米食PR」をしたい。どうやって伝えようと、みんなが米食について見つめ直してくれるようになるかな。</div>
指導・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の思いが想起できるように、それぞれの思いが書かれた資料を準備する。</li> <li>・世界の国々の一人一日当たりの米消費量を表したグラフを電子黒板に表示し、日本の米消費量が少ないことに気付くようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な調査方法があることを教え、その中で自分たちの調査にはどの方法が適切かを選択できるように助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果と見比べて、生産者と消費者の意識のギャップに気付くようにするために、生産者から話を聞いたときの記録用紙などを見直すよう指示する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">・ベン図</p>
ループリック	A: 不思議だと思ったことを発言することができる。 S: 不思議だと思ったことをもとに、これからどんなことを調べてみたいかを発言することができる。	A: アンケート結果から分かったことを発言することができる。 S: アンケート結果から分かったことをもとに、自分のできることを考えを発言することができる。	A: 理由をはっきりさせて発言することができる。 S: 仲間の意見と自分の意見を比べて、仲間が納得できる意見を理由を付けて言うことができる。
評価規準	【学習方法に関すること】 生産者の願いとは反対に、日本人の米の消費量が減っている現状を知り、これから調査したい内容について考えたり、発言したりしている。(発言、振り返りシート)	【自分自身に関すること】 南小校区でも米離れが起きていることを知り、自分たちも米食について見つめ直す必要があることに気付き、自分たちに何かできることがないか考えたり、発言したりしている。(発言、振り返りシート)	【学習方法に関すること】 仲間と自分の意見をもとに、生産者と消費者の意識にギャップがあることに気付き、消費者の意識を変えるために地域に向けて発信していきたいという願いをもっている。(付箋紙、発言、振り返りシート)

(全10時間)

<評価規準>

- ・日本人の米離れについて知ること、「自分たちの身の回りでも米離れは起きているのだろうか」という疑問をもち、地域の米食の実態について考えようとしている。
- ・南小校区の米離れについて、消費者の意識を調査し、前単元で学習した生産者の思いと比較することで、両者の意識に差があることに気付いている。
- ・自分や自分の家庭の米食の状況について見つめ直そうとしている。
- ・南小校区でも米離れが起きていることを知り、地域の人々に米食のよさや生産者の思いを伝えたいという願いをもっている。

<p><b>見つける (情報の収集)</b></p>	<p><b>見つめる・なぜ? (整理・分析→課題設定)</b></p>
<p><b>7・8(本時)</b></p>	<p><b>9・10</b></p>
<p>米食について見つめ直してもらえようPRにするために、アイデアを出し、PRする内容を絞り込むことができる。</p>	<p>絞り込んだアイデアを実際に発表できる形にするための計画を立て、発表までの取組の見直しをもつことができる。</p>
<p>・「米食PR」のためにどんなことを伝えたいのだろうか。          ・生産者の思いを伝えたいな。          ・米食のよさを伝えたいな。          ・アイデアはたくさん出てきたけど、発表を聞いた人が米食について見つめ直してくれるようなPRするには、どれをどのように伝えたいのだろうか。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>「米食PR」のために、伝える内容が絞られてきた。絞ったアイデアをPRの形にするために、必要なことをこれから調べたり、準備したりしていきたい。</p> </div>	<p>・PRに必要なことを調べたり、準備したりするための計画を立てよう。          ・生産者の思いをインタビュー映像で伝えることになったから、どんなことをインタビューするといいか考えよう。          ・簡単に米を食べられる方法を伝えることになったから、どんな方法があるか調べよう。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>PRの実行計画を立てることができた。自分の担当の仕事を責任もって行い、説得力のあるPRになるようにしたいな。</p> </div>
<p>・「米食について見つめ直してもらえようPR」という視点を明確にすることで、アイデアを絞るときの根拠となるようにする。          ・意見交流だけになっている班には、ルーブリックを示し、絞り込むための話し合いになるように助言する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px;">・ウェビングマップ</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px;">・座標軸</div> </div>	<p>・発表内容ごとにグループを作り、それぞれで発表に必要な準備や計画を立てることを指示する。</p>
<p>A: 理由をはっきりさせて自分の考えを発表することができる。          S: 仲間を説得することができるような根拠をもって自分の考えを発表することができる。</p>	<p>A: どんな準備が必要かということを発言することができる。          S: 仲間の意見を聞いて、発表のためによりよい方法を考えて提案することができる。</p>
<p>【学習方法に関すること】          米食について見つめ直してもらえようPRにするためには何を伝えたいかを考え、PR内容を絞り込んでいる。          (付箋紙、発言、振り返りシート)</p>	<p>【学習方法に関すること】          説得力のあるPRするにはどんな方法で発表するとよいかを考え、発表までの取組の見直しをもっている。          (発言、計画書)</p>

第6学年 総合的な学習の時間 単元指導計画 単元名「関ってすてき・再発見！」

＜単元目標＞

日本や地域の伝統・文化について調べ、多くの伝統が今も受け継がれていることを理解し、地域の伝統・文化のよさや受け継いでいる人々の思いや願いに気づき、地域への愛着を高め、自分ができることを実践しようとする。

＜つけたい力＞

- ・奈良、京都の見学や伝統・文化を受け継ぐ人の思いや願いを知ることを通して、伝統について興味・関心をもち、課題を設定することができる。＜課題設定力＞
- ・異なる意見や他者の考えと比較しながら、考えを深めることができる。＜思考力＞
- ・事前学習で調べたことや見学した事実について、自分の考えを関連付けて、仲間に伝えることができる。＜表現力＞
- ・自らの生活の在り方を見直して、自分ができることを実践することができる。＜実践力＞
- ・グループや全体交流で、取り組む内容や方法などについて解決することができる。＜関わる力＞

学習過程	見つける・なぜ？ (まとめ→課題設定)	見つける (整理・分析)	見つける (整理・分析)
時間	1	2	3
本時のねらい	修学旅行で見学してきたことをまとめ、さらに深めるための疑問や調べたいことを考え、これからさらに伝統・文化について考えていく見通しをもつことができる。	「なぜ、伝統を守る必要があるのか」という疑問について、これまでの学習から「もの」「こと」だけでなく、日本の伝統を守り続けている「人の思い」や「願い」も大切であることを理解することができる。	修学旅行で伝統・文化について調査したことについて整理・分析する活動を通して、伝統・文化に対する人の思いや願いを理解することができる。
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東大寺の大仏は、資料で見ていたものよりずっと大きく感動した。</li> <li>・金閣寺の美しさにびっくりした。</li> <li>・清水寺の舞台の釘を使わない建て方にびっくりした。</li> <li>・奈良や京都のよさを伝えようと、がんばっているのは、なぜだろう。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     なぜ、伝統を守る必要があるのか。伝統を守るってどういうことだろう。もっと伝統について詳しく調べてみたい。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ずっと昔から受け継がれてきた大切な財産だから。</li> <li>・それぞれの伝統には、職人たちの高い技術や技能が詰まっているから。</li> <li>・伝統は、一度失われると元に戻すのは大変だから守られなければいけない。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     伝統が守られていく理由が分かった。伝統を受け継ぐ人の心が大事なんだ。関で伝統を守り続けている人たちの思いや願いも知りたい。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良や京都の人たちは、地元の伝統・文化に誇りをもっていることが分かった。</li> <li>・奈良や京都の人の多くは、関のことをよく知らない。</li> <li>・僕たちよりも関のことをよく知っている人がいて、びっくりした。</li> <li>・東海地方の人は、関の刃物が有名なことをよく知っていた。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     奈良や京都の人たちは、自分たちの伝統・文化に誇りや愛着をもっている。僕たちも関の伝統・文化について、もっと勉強したいし、誇りをもてるようになりたい。                 </div>
指導・援助	見学で感じたことについて、発表できたことを価値付ける。さらに、深めるために疑問や調べたいことを考えさせ、これから伝統について考えていく見通しをもてるようにする。  <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">Yチャート</div>	伝統を受け継いでいくためには、そのものを残すことも大切だが、その伝統を守ろうとしている人たちの思いや願いが大切であることに気付けるようにする。	伝統を受け継ぐ方の話から、疑問に感じたことやもっと知りたいことを質問し、理解を深められるように助言する。
ループリック	A: 調べたことや見学したことをまとめ、発言することができる。 S: 調べたことや見学したことをもとに、疑問に思ったことや今後調べたいことを考え、発言することができる。	A: 根拠を明らかにして自分の意見をまとめ、発言することができる。 S: 仲間の意見と自分の意見を比較したり関連付けたりしながら発言することができる。	A: 調べたことをもとに、根拠を明らかにして発言することができる。 S: 調べたことをもとに、仲間の意見と自分の意見を比較したり、関連付けたりしながら根拠を明らかにして発言することができる。
評価規準	＜学習方法に関すること＞ 調べたことや見学したことをもとに、さらに疑問に思ったことや調べたいことを考え、事実や根拠を明確にして意見を言ったり、仲間の意見に対して考えをもったりしている。	＜学習方法に関すること＞ 調べたこと、見学したことを根拠として、もの・こと・技や人の思い・願いを話そうとしている。	＜学習方法に関すること＞ 調べたことをもとに、事実や根拠を明確にして意見を伝えたり、仲間の意見に対して考えをもったりしている。

# 〈全10時間〉

## 〈評価規準〉

- ・奈良、京都の見学や伝統・文化を受け継ぐ人の思いや願いを知ることを通して、伝統について興味・関心を持ち、課題を設定している。
- ・異なる意見や他者の考えと比較しながら、考えを深めている。
- ・事前学習で調べたことや見学した事実について、自分の考えを関連付けて、仲間に伝えている。
- ・自らの生活の在り方を見直して、自分ができることを実践している。

<b>見つける (情報の収集)</b>	<b>見つめる (整理・分析)</b>	<b>見つめる (まとめ)</b>
<p align="center"><b>4・5・6・7</b></p>	<p align="center"><b>8</b></p>	<p align="center"><b>9(本時)・10</b></p>
<p>関の刃物や刀作りに携わる方や関のよさを広めている方の思いや願いを理解することで、伝統やよさが守り続けられている理由についてさらに深めることができる。</p>	<p>関の伝統・文化やよさを守り続けている方の話を振り返る活動を通して、関のよさをPRするために、これから自分たちにどんなことができるのか考えることができる。</p>	<p>関の刃物のよさをPRするための方法を、整理・分析する活動を通して、自分たちができることを交流し、深めることができる。</p>
<p>・私たちの住む関にも、伝統やよさがたくさんある。 ・伝統を守り続ける人たちが、どんな思いや願いで伝統を受け継いでいるのかが分かった。 ・この素晴らしい関の伝統やよさを守っていかなければいけない。</p> <p align="center">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>関の伝統や文化を受け継ぐ人たちは、どの人も関に愛着を持ち、自分の仕事に誇りをもっていることが分かった。その思いや願いを僕たちも広めていきたい。そして、関のよさを残していきたい。</p> </div>	<p>・関をPRするポスターやパンフレット、チラシを作りたい。 ・関をPRする動画を作りたい。 ・劇をやりたい。 ・かるたを作りたい。</p> <p align="center">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>関のよさを多くの人に知ってもらい、広めるためにPRしたいことを決めることができた。みんなと交流してPRしたいことを絞っていききたい。</p> </div>	<p>・自分たちの考えたアイデアが、本当にできるかどうか話し合っ、決めていきたい。 ・PRするのにふさわしい分かりやすいものにしたい。 ・自分たちの選んだ方法で、関の刃物を分かりやすくPRしたい。 ・早くPRする活動に取り組みたい。</p> <p align="center">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>関の刃物のよさをPRする方法を絞ることができた。それをどのように取り組んでいくのか、みんなで考えていきたい。</p> </div>
<p>伝統を受け継ぐ方や関のよさを広めている方の思いや願いについて、比較したり、関連付けたりしながらまとめるよう助言する。</p>	<p>これまでの学習を振り返り、伝統を受け継ぐ方やよさを広めている方の思いや願いを受け止め、自分たちは何ができるかという自分に置きかえて考えるよう助言する。</p> <p align="center">座標軸</p>	<p>アイデアが実現可能かどうか見極めるために、「よいところ」や「課題点」を考える。また、アイデアに対するアドバイスを交流することで、考えを深められるように指示する。</p> <p align="center">PMIシート</p>
<p>A: 話を聞いたことをもとに、伝統を守り続ける理由について理解を深めることができる。 S: 話を聞いたことをもとに、これまでの学習と関連付けながら伝統を守り続ける理由について理解を深めることができる。</p>	<p>A: よりよい方法を自分で考えることができる。 S: 実現可能かどうか、根拠を考えながらよりよい方法を自分で考えることができる。</p>	<p>A: 理由を示しながら自分の意見を発言することができる。 S: 理由を示しながら意見を整理したり、分析したりすることができる。</p>
<p>〈学習方法に関すること〉 これまでの学習や話を聞いて分かったことをもとに、伝統が守り続けられた理由について理解を深めようとしている。</p>	<p>〈自分自身に関すること〉 今までの学習を振り返り、関のよさをPRするために自分なりにできることを考えようとしている。</p>	<p>〈学習方法に関すること〉 PRする方法について、理由を明確にして意見を言ったり、仲間の意見について考えたりして、よりよいアイデアに深めようとしている。</p>

## おわりに

本日は、ご多用の中、ご参会いただきありがとうございました。

研究主題『人とかかわり、考える力、伝える力を高め、自分をみつめる子をめざして～主体的に取り組む探究的な活動を通して～』のもと、生活科及び総合的な学習の時間の研究を進めて三ヶ年が経過しました。

子どもが夢中になって課題に立ち向かい、子どもらしい追究の仕方での新たな疑問を大事にし、仲間と考えを練り上げながら、自分に何ができるのか問いかけ、考えを発信し、行動に移していくたくましい学びの姿を願って、日々の授業実践に取り組んできました。

研究を通して、自分の考えを付箋紙にまとめて書く力が育ちつつあります。グループでの話し合いでは、仲間の考えと自分の考えを比べ合わせながら、集団の考えをまとめたり整理したりする学習に高い興味を示しています。また子どもの発想や願いに寄り添った指導計画を作成したことで、主体的に課題に立ち向かう子どもの姿が多く見られるようになりました。とは言っても、「子どもたちの主体性」や「アクティブな対話活動」「子どもたちによる深い思考」の指導が十分だったかといえば、ああすればよかったと思うことばかりです。しかし、この研究で積み上げてきたものを、今後の教育活動に生かしていきたいと強く感じています。

どうか今後とも、ご指導並びにご意見をお寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、講師の先生方をはじめ関係の皆様から温かいご指導並びにご助言を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

教頭 福安 和行